

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和4年11月22日（16:30～17:30）
1. 初期支援（はじめのかかわり）	メンバー	出口、西村、竹下、上原、津田、小幡、大槻 ^恵 、堀田、神田尾松、大槻 ^妙 、片岡、樋口、亀井、四方、戸嶋

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計（総人数）
◎	前回の課題について取り組みましたか？	1	14	1	0	16

前回の改善計画

新規利用者情報は、現場スタッフが利用者本人の健康面や認知症状、ケアに関する注意事項など具体的に把握できるようフェイスシート、アセスメントシート、ケアプランを活用する。

前回の改善計画に対する取組結果

ミーティングや申し送りシートなど活用し把握できるよう努めている。
書類を作る立場であるため全ての職員が見やすいように工夫して作成している。新規ご利用者でサービス利用が初めての方の情報はかかわりながら追加している。フェイスシートは見てもケアプランなどの活用まではできていないように思う。
来所されてからわからないことが多い。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計（総人数）
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか？	3	12	1	0	16
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援が来ていますか？	2	14	0	0	16
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いで声掛けや気遣いができていますか？	2	14	0	0	16
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係作りのために配慮をしていますか？	2	14	0	0	16

できている点

200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

新規のご利用者は特に意識し、声かけや状況など把握するよう努めている。
新規利用者が利用される前に申し送りファイルにとじ全員が把握できるようにしてある。
事前にケアマネが知り得た情報をフェイスシートや会議で皆に共有できている。不明点はミーティング等で話し合っている
本人が慣れていないとき時期は来所時に声かけ気遣いできた。
何を必要とされているのか、生活の困り事など丁寧に話をさせていただいている。相手の立場になって言葉を選びながら相談支援を行っている。

できていない点

200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること

来所されてから知り得た情報はなかなか浸透が難しい。
ところどころ情報の見落としがあった。
情報が正確に収集できていない部分があり介助にムラがある。
申し込みからサービス開始までが短期間の場合は、フェイスシートや訪問資料の提示のみとなっている。
ケアプランの活用が上手にできていない。見る機会を自ら作らないと見ようしないため。
調理訪問のあるご利用者の情報を把握できているか不明な部分がある。
申し送りの情報が少ないこともある。家族や介護にかかわる職員も一部なので把握していないこともある。口頭での申し送りはあるがその日その時にいないとわからないこともある。

次回までの具体的な改善計画

(200字以内)

事前情報を把握したうえで、ご利用者とかかわり、新たに得た情報を共有できるようミーティングで報告し、申し送りファイル、個別記録にも記載する。
フェイスシートやアセスメントシートと同様に、ケアプランも把握できるように検討する。
一人一人が活用する意識を高める。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和4年11月22日 (16:30~17:30)

2. 「～したい」の実現(自己実現の尊重)

メンバー 出口、西村、竹下、上原、津田、小幡、大槻恵、堀田、神田尾松、大槻妙、片岡、樋口、亀井、四方、戸嶋

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
◎	前回の課題について取り組みましたか?	0	15	1	0	16

前回の改善計画
したい気持ちを引き出し尊重し、個々の残存能力にあわせ、出来るだけ段階的にプランを立て職員と一緒にできるような関わりを多くする。

前回の改善計画に対する取組結果
ご自分の残存能力を活かせるよう職員の声かけやサポートでかかわりを持つようにしている。
ご利用者に合ったことを見つけ、一緒に色々取り組めた。
ご利用者が何を希望されているのかは、かかわりの時間が少ないと見えてこないのので「～したい」や前向きに取り組んでもらえるような工夫はできていなかったと思う。最近のご利用者とかかわり、その人を知ろうとする姿勢を持った職員も増えたため、次回は改善計画にあるステップに進めるのではないかなと思う。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	「本人の目標(ゴール)」がわかっていますか?	1	11	4	0	16
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか?	0	13	3	0	16
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々の関わりができていますか?	0	12	4	0	16
④	実践した(かかわった)内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に生かしていますか?	0	14	2	0	16

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
集団の中でも本人のやりたい思いを大切にし個々の活動も大切に取り組んでいる。
日々のかかわりの中で思いを引き出し、昼礼で共有している。また委員会でもリハビリのメニューを考え行っている。
ご利用者にその日の体調を伺い、声をかけ色々な作業ができた。
時間を見つけ一人一人にかかわれるようにしている。かかわりを多く持てるよう努力できている。
ご利用者の～したい気持ちを会話の中から引き出し、できる範囲で実行できている。
個人としてはケアマネ業務の空き時間を作り、ご利用者とお話する時間を持ち楽しんでもらえるかかわりを考えながら行っている。年齢的にも目標というのは難しいと思う部分もあるが楽しんでもらえることの発見は今後もしていきたい。

できていない点 200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること
「(ご利用者が)できない」ことはあきらめてしまう。
かかわったことなどの振り返りが遅い時があると思う。
すべてのご利用者に対応できていない。
ご利用者とのかかわりの大切さを理解できている職員が少ない。それに対する研修も少ないため実施する必要がある。申し送りやミーティングで話す内容も特定の職員間でだったら話をするなど意識的にかかわりの時間を作る工夫ができていないため改善が必要。
すべてが希望通りにできるわけではないが、もう少し希望に沿ったかかわりができるのではないかなと思う。
「～したい」という気持ちが聞けていない。職員側からの発信を受けておられるというイメージである。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)
ご利用者とかかわる時間がしっかり持てるよう、委員会や行事相談は決められた時間に行う。
気になることはミーティング等で意見として発信する。記録にも残していく。
ご利用者にできなくても話しながら作業するなど、ご利用者へのかかわり方を模索していく。
「～したい」という気持ちを聞き取れるようにかかわりを深めていく。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和4年11月22日 (16:30~17:30)

3. 日常生活の支援

メンバー 出口、西村、竹下、上原、津田、小幡、大槻恵、堀田、神田尾松、大槻妙、片岡、樋口、亀井、四方、戸嶋

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
◎	前回の課題について取り組みましたか?	1	15	0	0	16

前回の改善計画
状態の変化に対して、本人の気持ちを大切にしながら、スタッフ間で情報を共有し、支援を検討する。
職員一人一人が意識して利用者の思いを知る努力をする。

前回の改善計画に対する取組結果
本人の気持ちを優先し動くようにしている。
訪問時、来所時にできる限りかわりを持ち思いを知ることができた。
昼礼等で情報を共有し支援の検討ができている。
ケアマネとしても支援内容の検討を行っているが、現場からの経過報告が少なくアセスメントしづらいのが現状。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10個以上把握できていますか?	0	10	5	1	16
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか?	2	14	0	0	16
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで語源化できていますか?	1	14	1	0	16
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか?	2	14	0	0	16
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時に支援できていますか?	2	13	1	0	16

できている点 200字程度で、できていること、その理由を記入すること
職員の気づきを大切に、ご利用者に負担がかからないよう配慮できている。
日々のかかわりの中で状態の変化も気にしながら行い、変化があったときは昼礼等で共有できている。
訪問時に特に変化があったときは事務所に報告し対応することができた。
ご利用者の些細な変化に気づき、心身面ではご利用者に寄り添い、体調面では早急に対応できるよう職員間で情報共有し対応できていると思う。食事や入浴、排泄などの変化や必要なサポートはチームで共有し実施できている。
ご本人の気持ちを色々な角度からわかろうと努力できていると思う。

できていない点 200字程度で、できていないこと、その理由を記入すること
時々情報の見落としがある。
本人の声にならない声を語源化することはあまりできていないと思う。声にならない声に気づけていないときがある。
以前の暮らし10個以上の把握ができていない。
必要なサポートに対して実施後の経過が継続して見れていないことが多く改善がいる。また記録にも残せていない。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)
ご利用者一人一人の変化をしっかりと記録し発信する。
ご利用者の状態変化に対応した後の振り返りを行い、次の支援につなげる。状態の経過観察は継続して行う。
ケアプランや居宅介護計画を把握し、ご利用者の思いに沿った支援を行う。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和4年11月22日 (16:30~17:30)

4. 地域での暮らしの支援

メンバー 出口、西村、竹下、上原、津田、小幡、大槻恵、堀田、神田尾松、大槻妙、片岡、樋口、亀井、四方、戸嶋

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
◎	前回の課題について取り組みましたか?	1	13	2	0	16

前回の改善計画
これまで同様に地域との関係性を高め、社会資源が活用しやすいよう提案し、地域で暮らしやすくする。

前回の改善計画に対する取組結果
ご利用者の思いを大切にし、ご自宅にいても買い物などできるよう社会資源を活用し支援している。
地域との関係性を高め、地域で暮らしやすくしている。
ご利用者にかかわる社会資源を理解して、失わないようにサポートする意識を持っている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか?	1	15	0	0	16
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか?	1	15	0	0	16
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか?	1	12	3	0	16
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか?	1	12	3	0	16

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
地域密着を大切にしている。ご利用者が地域との関係を築けるサポートができています。
コロナの関係で難しい部分はあるが、近隣の小学校とかかわりを持つ機会があったり、買い物を希望される方にはやまぶきまで移動販売車に来てもらっている。
ご利用者と日常生活の中で、会話や作業などで理解できていると思う。
限られた時間の中で、できる限り話を聞くことができた。そのことで近所の昔話などで把握できることもあった。
本人と地域との関係が切れないように、地域での行事などを把握し支援できていると思う。
地域の方からの呼びかけでサロンの参加など行っている。こちらから働きかけることは少ないが地域の中で暮らしてもらうことは意識している。

できていない点 200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること
直接、接していない時間にどのように過ごされているか、しっかりと把握できていないと思う。
事業所がかかわっていない時間のご利用者の過ごし方が把握できていない方もいる。
民生委員さんに必要な場合は連絡を取り合っているが個人情報にかかわることもあるため、こちらから何か働きかけることは少ない。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)
誰がどのような会議に出席しているかや、その経過や方向性などミーティングで報告し、全職員が地域の活動を把握し、理解したうえで地域行事などへ参加し関係づくりをする。
民生委員や地域資源など把握できるよう提示し、ご利用者の暮らしに生かせるようにする。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和4年11月22日 (16:30~17:30)

5. 多機能性ある柔軟な支援

メンバー 出口、西村、竹下、上原、津田、小幡、大槻恵、堀田、神田尾松、大槻妙、片岡、樋口、亀井、四方、戸嶋

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
◎	前回の課題について取り組みましたか?	1	14	1	0	16

前回の改善計画
地域資源を把握し活用するために、今以上に包括支援センターとの協力関係を保つ。 ニーズに合わせた地域資源の活用ができるよう、情報発信などを行い、柔軟なサービスとして事業の中に位置づけ、体制化していく。
前回の改善計画に対する取組結果
管理者を中心に行えている。 東部包括支援センターとしっかり連携し協力関係が保てている。 必要なサポートの中で地域資源を生かして行えることは実施している。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	自分たちの事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか?	2	14	0	0	16
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当に適切に提供されていますか?	4	12	0	0	16
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有する事ができていますか?	2	12	2	0	16
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか?	3	13	0	0	16

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
	朝礼、昼礼で気づいた点を出し、その状態に合わせ支援できている。 送迎や訪問が難しい季節や体調が悪く帰宅が難しい場合には宿泊に変更し、ご利用者やご家族が安心できるよう配慮している。 利用日ではない日でも本人の状態などに合わせて変更できている。 申し送りなど日々の記録が分かりやすくされているので情報は共有できていると思う。 移動販売や配食など必要な方は利用されている。

できていない点	200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること
	ご家族が安心されていても、ご本人はなかなか理解、受け入れが難しいところがあり対応ができていない。 デイや泊りが多めの方はご家族都合である場合が多く、適切とは言えない。 記録が十分にできていないときがあり経緯の説明が困難な時がある。 変化に気づいたとしても報告できず、聞き取りによりわかることもあるため、しっかり記録やミーティングで話していくべきだと思う。 記録が残せていない。かかわりを持っていたとしても職員間の共有にはつなげていない。 変化に気づいていても、その次への対応が遅くなってしまっていることはある。

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
	申し送りと個別記録への記載を抜けがないよう行う。 関係機関、法人内でも情報交換をし、ご利用者の生活を幅広くサポートしていく。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和4年11月22日 (16:30~17:30)

6. 連携・協働

メンバー 出口、西村、竹下、上原、津田、小幡、大槻恵、堀田、神田尾松、大槻妙、片岡、樋口、亀井、四方、戸嶋

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
◎	前回の課題について取り組みましたか?	2	13	1	0	16

前回の改善計画
関係機関との会議には積極的に参加する。 事業所として協力できる事などを発信し、地域貢献できるようにする。
前回の改善計画に対する取組結果
ケアマネを中心に行っている。 やまぶきだよりを発行し、地域に普段の様子等を発信できている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	その他のサービス機関(医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所)との会議を行っていますか?	4	12	0	0	16
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか?	5	11	0	0	16
③	地域の各種機関・団体(自治会、町内会、婦人会、消防団等)の活動やイベントに参加していますか?	3	12	1	0	16
④	登録者以外の高齢者や子供等の地域住民が事業所を訪れますか?	2	11	3	0	16

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
	管理者、ケアマネを中心に行えている。 本人に合った福祉用具などはすぐに対応できている。 イベントや行事があるときには地域の方たちが訪れることがある。 2か月に1回のケア会議に出席し、他事業所の関係者と情報共有や相談ができています。 学校関係の参加や研修を実施している。コロナ禍ではあるが地域の方とご利用者との交流ができた。

できていない点	200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること
	コロナの影響により地域交流は少なかった。 地域への発信(やまぶきからの発信)

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
	地域行事への参加だけでなく、やまぶき側からの働きかけで何か取り組めるよう検討する。 これまでから継続している地域との関係を職員へ提示し周知する。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和4年11月22日 (16:30~17:30)

7. 運営

メンバー 出口、西村、竹下、上原、津田、小幡、大槻恵、堀田、神田尾松、大槻妙、片岡、樋口、亀井、四方、戸嶋

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
◎	前回の課題について取り組みましたか?	1	13	1	1	16

前回の改善計画
事業所のあり方について自由に意見交換し運営に携われるようにしていく。

前回の改善計画に対する取組結果
ミーティング等を利用して行えている。
小規模多機能型サービスを理解したうえで必要なことは意見交換できていると思う。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	事業所のあり方について、職員としての意見を言うことができているか?	2	10	3	1	16
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか?	1	15	0	0	16
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか?	1	15	0	0	16
④	地域に必要とされる拠点である為に、積極的に地域と協働した取り組みを行っていますか?	1	13	2	0	16

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
家族や利用者からの思いは響きを付け、問題が発生した場合は後回しにせず、その日のうちに解決できるよう取り組んでいる。理事長、事務長、管理者と話せるときに意見を伝えることができている。時々面接を行いできていると思う。ご利用者、ご家族の意見、苦情等は真摯に受け止め、より良いサポートにつなげられるよう情報共有を行い改善できるよう取り組んでいると思う。やまぶきだけで考えることが難しい場合は理事長や内部理事にも報告・相談できている。事業所内で適切に情報共有・意見交換は必要と感じた時に行っている。事業所の在り方について意見が発信できている。振り返りシートを活用し、職員一人一人が意識を高めるよう努めている。

できていない点 200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること
意見としてではなく個人個人で話していることが多いと思う。事業所の在り方についての意見の述べ方が分からない。ご利用者からの苦情に対して、かわり方や認知症理解などプロとしての行動がとれるよう振り返りシートの記入など行っているが、その取り組みが次のステップには進まず変化がない。しかし、ご利用者とかかわること、学ぶことに前向きな職員が増えてきたため、自分自身もプロ意識をしっかりと持ち、陰口や悪口、足の引っ張り合いを行う環境を許さず、ご利用者の暮らしを守るチームをしっかりと作っていきたい。また同法人丹都とも情報共有を行い、時分自身の考え方が偏らないようにしていく。事業所の在り方、地域に必要とされる拠点という視点であまり考えれていない。職員それぞれ考え方意見が違う中で受容することができず、職員同士協力ができなかつたり、不穏な雰囲気の中意見が言いにくい状態になっている。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)
同法人内の職員とも意見交換しながら学ぶ機会を設ける。
事業所の在り方や仕事への向き合い方を意識し、主体性をもって前向きに取り組む。
振り返りシートを活用しながら職員一人一人の意識を高める。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和4年11月22日 (16:30~17:30)

8. 質を向上するための取組

メンバー 出口、西村、竹下、上原、津田、小幡、大槻恵、堀田、神田尾松、大槻妙、片岡、樋口、亀井、四方、戸嶋

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
◎	前回の課題について取り組みましたか?	2	14	0	0	16

前回の改善計画
 施設内研修や体外研修に参加し、職員のスキルアップを目指す。
 日頃の介護業務を振り返り、改善につながるよう事例検討会を行う。

前回の改善計画に対する取組結果
 全体会議での研修など学習する場があり少しでもスキルアップが目指せる。
 毎月施設内研修を行っているが時間が少なくスキルアップにつながるまでの内容ではないようにも思うが、定期的に行っている。事例検討会は行っていない。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	研修(職場内・職場外)を実施・参加していますか?	2	14	0	0	16
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか?	1	15	0	0	16
③	地域連絡会議に参加していますか?	2	14	0	0	16
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか?	2	14	0	0	16

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
 日々リスクについては行えている、注意し行動もしている。
 ZOOMでの研修会参加や、リスクマネジメントについてはリスク委員会を中心に検討を行えている。
 認知症研修を行うことにより、より理解を深めていけると思う。
 施設外研修への参加や全体会議等での研修が行われ学ぶ機会がある。
 個人的には、認知症サポーターとしての活動に参加している。

できていない点 200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること
 見守りが手薄になりリスクマネジメントの意識が薄くなっている場面がある。
 それぞれのレベルや意識に合わせた研修はできていない。
 職場外での研修等の参加。丹都ではいろいろと研修の紹介(興味があればというような感じで)資料が提供されていた。
 ヒヤリハットの報告を行い話し合っているがアクシデントにつながってしまうケースがあった。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)
 施設内研修はテーマの概要だけを説明するのではなく、チームにとって必要な知識をピックアップし現場で活かせるよう取り組む。
 外部研修参加後は報告を行い、チームへ知識や情報を還元する。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和4年11月22日 (16:30~17:30)

9. 人権・プライバシー

メンバー 出口、西村、竹下、上原、津田、小幡、大槻恵、堀田、神田尾松、大槻妙、片岡、樋口、亀井、四方、戸嶋

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
◎	前回の課題について取り組みましたか?	2	13	1	0	16

前回の改善計画	プライバシーや人権が守れるよう、職員同士で言動など注意しあえる環境を整える。
前回の改善計画に対する取組結果	気づいたことがあれば、その場で注意、助言するよう努めている。 プライバシー、人権は守られていると思う。プライバシーの意識はしっかりと持ちできている(個人的には)

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	身体拘束をしていない	2	14	0	0	16
②	虐待は行われていない	5	11	0	0	16
③	プライバシーが守られている	3	12	1	0	16
④	必要な方に成年後見制度を活用している	2	14	0	0	16
⑤	適正な個人情報の管理ができている	4	12	0	0	17

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
人権、プライバシーに関しては特に意識し、委員会も設け行えている。 身体的な拘束や、スピーチロックについても会議で研修をし意識付けを行っている。 職員間で声かけしできていると思う。 SNSに写真等を載せる時は個人のプライバシーに配慮しできていると思う。 どうすればプライバシーが守れるのか考えながらの行動もできているように感じる。昼寝ベッドのない方が横になれる場所も作り周りに見えなくする等。 権利擁護は利用が必要な方にはすすめ手続きのサポートを行っている。 振り返りチェックシートを新たなものに変更した。拘束や虐待についての研修を行ったり、スピーチロックについて学びを深め、チェックシートで必ずできていないこととして取り上げられてきている言葉遣いについてや認知症についての知識も改めて学び、人権を守れるような環境づくりに努めてきている。	

できていない点	200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること
職員都合でご利用者の行動に制限をかけていることが時々ある。 大きな声で個人情報にあたることをフロアで言っているのが聞こえる。 「ちょっとまっていて」などスピーチロックはある。全室にコールボタンが設置、手元に置くことができていない。 プライバシーは守れているとは思っているが、都度守れているのか振り返ることも大切かと思う。職員間ではできていない。 関わり方に配慮が足りないと思う時がある。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
プライバシーや人権が守れるよう職員同士で注意しあえる環境を整える。 振り返りシートを活用し、意識し業務にあたる。 研修などを行い啓発に取り組む。	